

教員名	中野正裕	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>・ゼミでは、主に経済理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）の中級レベルまでの学習を進めます。現実の経済問題について論じるさい、印象・感覚に頼ったり一面的な見方に囚われないよう、論理的思考と客観的なデータに基づいて議論を進めるトレーニングを重ねるゼミです。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>・ミクロ・マクロ理論の初級～中級の学習（テキスト講読と問題演習）</p> <p>2年次後期（基礎演習）から3年次前期まで、高校数学の復習、経済数学基礎（関数や微分）の学習と、ミクロ経済学の基礎部分（消費者理論、生産者理論、競争均衡の基礎）を学習します（3年次前期はミクロ学習のためのサブゼミを実施します）。それと並行して3年次前期から4年次前期までの演習では、マクロ経済学のテキストを通読し練習問題（公務員試験の過去問など）を解くことで理論学習を進めます。</p> <p>・個人研究（研究報告と論文作成）</p> <p>3年次前期で個人研究のテーマに関する文献資料およびデータ資料を集め、データ分析の結果をもとに、3年次の11月と2月に研究結果を提出してもらいます。4年次には本格的な論文作成に取り組み、演習時はPC教室で研究作業を進め、卒業論文を仕上げてもらいます。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>・ミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶと、経済社会を見る「眼」が養われます。それは「よりよい社会、より良い人間関係とは何か」を考える重要な手掛かりを与えてくれます。（ただし、「自分の生活を良くする」ことにしか関心のない人にはそれほど役に立たないかもしれません。）</p> <p>・考察対象が何であれ、入手した情報について分析し、仮説を立て、未解決の問題をとく（手がかりを見つける）作業を繰り返すのがゼミです。これは大学生が将来「生産者」として新しい価値を創造する人材となるために、欠かせない作業です。</p> <p>・ゼミでは①情報収集能力、②計画策定とリスク評価能力、③失敗を恐れない精神力、を磨くことのできる指導を心掛けています。上記の3点はいずれも皆さんが将来、さまざまな問題解決を行っていくために欠かせない資質だと考えるからです。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>・一橋大学経済学部編『教養としての経済学 生き抜く力を培うために』有斐閣</p> <p>・大竹文雄『競争と公平感 市場競争の本当のメリット』中公新書</p> <p>・バーサ・ダスグプタ『経済学』岩波書店</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>・経済学を学ぶ道のりは決して楽なものではありません。しかし経済学を学ぶのであれば、与えられた課題に真心を尽くし、また何事においても創意工夫を楽しもうとする学生を目指してください。そして次代を担う「クールな頭脳と温かい心」を備えた経済人として社会に羽ばたいてください。</p>			